

## 自然科教育目標

人間に役立つ工学を活用し発展させるには、工学の基礎となる物理・化学分野の自然法則を理解させ、科学的な考え方を涵養することが大切である。数学は自然法則を適切に表現するために不可欠な手段であるので、その手法や考え方を十分に学習させなければならない。現代社会で科学技術の成果を利用しながら人間らしい健康な生活を送るためには、保健の知識を修得させる必要があり、又、体育の心身に与える効用を体験的に理解させなければならない。

- ( 1 ) 数学では、線形代数、微積分、級数、偏微分、重積分、微分方程式の諸概念を理解させ使えるようにする。
- ( 2 ) 物理では、上記数学の学習度に合ったレベルで物理法則を理解させ使えるようにする。学習分野としては力と運動、熱、波動（音、光）、電磁気、原子である。
- ( 3 ) 化学では、化学法則を理解させ、今後さらに発展していく技術に対応できるように基礎的な考え方を修得させる。学習内容としては化学結合、物質量、物理変化と化学変化、有機化合物の性質である。
- ( 4 ) 保健では、生理学、解剖学を通して人体の仕組みを知り、栄養学、環境衛生、疾病等の知識を修得して、健康管理の重要性と予防医学の意識を深める。
- ( 5 ) 体育では、スポーツが心身の健康増進に役立つ事を体験する。さらにその楽しさや運動効果を実感し、併せて仲間とのコミュニケーションに活用する。